



↑チャリティーランに集った皆さん ↓レースは中止でも雨の合間に「走れー」 ↓福祉の店やYコーナーも健闘



千葉 YMCA ニュースボード
2011年10月15日 第157号
www.ymcajapan.org/chiba/

40周年を迎えます

1971年11月5日に設立された千葉YMCAは、間もなく40周年を迎えます。40年の間には、活動拠点の推移、活動の変遷、関わる役職員の世代の交代など、様々な変化がありました。一貫して変わらないのは県下の青少年の健全育成への努力、またそれを通じてのボランティア指導者の養成でした。キャンプほかの野外活動・グループ活動、国際理解・交流活動、広い意味の子育て支援に実績を積み上げて参りました。千葉YMCAで育った指導者・ボランティアが今や首都圏をはじめ全国各地で活躍しています。

次の10年間の更なる充実・発展を期して、41年目の新たな一歩を踏み出しましょう。会員皆様の一層のご協力をよろしくお願いいたします。

◆小雨決行のチャリティーラン

10月15日のチャリティーランは小雨も予想されましたが決行しました。開会準備が整ったところであいにくの激しい雨。やむなくレースは中止とし、お楽しみ抽選会を行ってお開きとしました。それでも参加者は元気に一日を楽しみました(写真は当日の船橋市運動公園で)。チャリティーの益金は県内(被災地を含む)の福祉活動団体などに贈呈されます。

◆震災被災地復興への支援

この夏、各地のYMCAで、被災地からの青少年を受け入れてのキャンプが多数実施されました。仙台と盛岡のYMCAの救援センターではボランティアを受け入れており、千葉Yからも青年が再々奉仕に訪問しています。

◆ケソンシティ-YMCAとの交流

千葉YMCAは千葉市の姉妹都市ケソンシティ(フィリピン)のYMCAと長年交流を続けています。今冬もクリスマスから新年にかけて、千葉からフィリピンへ青年を派遣し、山地バギオでの青少

年会議(研修キャンプ)と市内での年末年始のホームステイで楽しい学びと出会いの機会を提供します。会員のご子弟の参加をお勧めします。YMCAの鈴木基金から補助があります。

◆少年自然の家 わいわいフェスティバル

10月30日(日)は長柄町の千葉市少年自然の家へ!年に一度のオープンデー!予約なしで、どなたでも参加できる、楽しいお祭りです。模擬店、地元長柄町の農産物・生産加工物の販売、クラフト、泥んこレース、世界各国の紹介、民族楽器やダンスのパフォーマンスなど、盛りだくさんの内容で、家族で一日楽しむことができます。<http://chiba-shizen.jp>

◆会員活動「日本文化紹介」で遠足

11月5日(土)朝10時千葉センター出発、外房線で土気へ(土気駅10:50集合可)。ホキ美術館、昭和の森に行きます。運賃・入館料・食堂の昼食費計約3千円。当日の連絡は090-4420-4744青木清子へ。

○千葉センター 043-222-3811

○柏センター 04-7162-3711

○船橋地域デポ 047-425-6366